

第1学年社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成24年11月8日（木）4校時
学 級 1年1組（男子20名 女子14名 計34名）
授業者 教諭 川 島 善 広

- 1 単元名 第3章 世界の諸地域
4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ

2 単元（題材）について

(1) 教材について

本単元は、中学校学習指導要領社会〔地理的分野〕の内容「(1) 世界の様々な地域」の「ウ世界の諸地域」にあたり、「世界の諸地域について、六つの州の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。」ことを主なねらいとしている。

北アメリカ州には、カナダやアメリカ合衆国、メキシコ湾に面したメキシコやキューバ、カリブ海の島からなる国々があるが、本単元では、アメリカ合衆国を中心に上げ、地域的特色を理解させていく。

アメリカ合衆国は政治・経済・文化で世界のリーダー的な存在である。広大で肥沃な土地を利用した農業、豊かな地下資源とコンピューターをはじめとする最先端を誇る工業、「人種のサラダボウル」といわれる多民族を抱えた国家の活力などとあいまって、アメリカ合衆国は多方面で世界を大きくリードするに至っている。しかし、今日では社会構造による貧困と差別、住居・教育・失業などの問題が見られるようになってきている。このようなアメリカ合衆国を例に学習することによって、北アメリカ州が世界に与える影響を多面的・多角的に考察することができるようにしていきたい。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、8割強の生徒が社会科の授業や学習が「好きである」「どちらかといえば好きである」と答えている。ただ、地理と歴史を比べた場合、歴史の方が好きな生徒が多い。歴史は、小学校での人物を中心とした調べ学習の効果で、興味・関心の度合いが高い。それに対して、地理の場合は、地形や名称、場所を覚えることを難しいと感じている生徒も少なくなく、これが、地理を「好き」と答えた割合が低くなっている要因と思われる。

生徒はこれまでの地理的分野の授業で、世界の地域構成、世界各地の人々の生活と環境を学習してきた。学習のようすを見ると、課題にそって一つ一つの資料を読み取ることは正しくできるようになってきているが、複数の資料から分かったことを関連づけながら、諸地域の特色やその背景となっているものについて考えようという点では十分とはいえない。また、一斉の形態のときは、一部生徒の発言によって周りの生徒の考え方や回答が左右されることが多く、全員が活発に意見を出し合うという雰囲気が見られることは少なかった。1学期後半から意識的に取り入れた小グループによる資料の読み取りや考えを出し合うことによって、より多くの生徒が活動にかかわるようになってきた。

本単元で学習するアメリカ合衆国については、マスコミを通じてたくさんの情報が伝えられているために、生徒の知識はどちらかといえば豊富といってもよい。しかし、その内容はスポーツや芸能、バラエティ番組から得た断片的な知識が中心で、産業の特色や歴史、諸問題等については知識が乏しい。

(3) 指導について

本単元では、はじめに北アメリカ州の歴史と自然環境を大観し、次に、世界をリードするアメリカ合衆国の農業や工業そして経済の特色について学習する。その後、アメリカ合衆国を例に移民国家・多民族国家について学習し、多民族国家であるがゆえの人種間格差、人種差別問題等について多面的・多角的に考えさせたい。

指導にあたっては、資料の読み取り作業やそれを基にして考える活動において、小グループでの活動を取り入れる。その活動の過程で、自分の考えを表現し、他者の考えを知ることにより、自分の考えを明らかにしたり、深めさせたりしていきたい。

これらの学習活動を通して、アメリカ合衆国を中心とした北アメリカが農業・工業・経済など様々な面で世界に対して影響力をもっていることを理解させたい。

3 単元の指導・評価計画（7時間）

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知能・理解
北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	北アメリカ州の世界に対する影響力を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	北アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取っている。	北アメリカ州の世界に対する影響力を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

(2) 時間ごとの指導・評価計画

時	学習内容	学習目標	評価規準	評価方法
1	北アメリカをながめて～自然と歴史の特色～	北アメリカ州の自然環境と歴史の特色を、様々な資料から読み取り、理解することができる。	○ 「北アメリカ州の地勢と国々」から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取り、「アメリカ合衆国の領土の拡大」から、開拓の歴史を読み取っている。(技能)	・観察 ・発言
			○ 北アメリカ州の自然環境と歴史の特色を理解し、北アメリカを構成する主な国々の位置と名称を理解している。(知識・理解)	・発言 ・ペーパーテスト(後日)
2	世界の食料庫～大規模な農業と多様な農業地域～	アメリカ合衆国の農業の特色をとらえ、自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現することができる。	○ アメリカ合衆国の自然環境や社会条件と、農業地域の分布の関係について考察し、説明している。(思考・判断・表現)	・観察 ・発言 ・ノート
			○ アメリカ合衆国が世界最大の農業輸出国であり、大規模な適地適作の農業経営が行われていることを理解している。(知識・理解)	・発言 ・ペーパーテスト(後日)
3	世界の最先端を行く工業～先端技術と工業地域～	アメリカ合衆国の工業について、生産や地域の特色についてとらえ、先端技術産業の発達について考え、表現することができる。	○ 経済のグローバル化が進むなかで、先端技術を生かした産業が発達した理由について考察し、説明している。(思考・判断・表現)	・観察 ・発言 ・ノート
			○ 豊富な資源を背景としたアメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色を理解している。(知識・理解)	・発言 ・ペーパーテスト(後日)

4	世界をリードする北米経済 ～多国籍企業と金融～	世界に影響力をもつアメリカ合衆国の経済について関心をもち、多国籍企業や金融から理解できる。	○ アメリカ合衆国の経済や金融のしくみに対する関心を高め、世界に対する影響についてとらえようとしている。(関心・意欲・態度)	・観察 ・発言
			○ アメリカ合衆国は世界最大の経済力と影響力をもつことや、巨大な多国籍企業の経済活動について理解している。(知識・理解)	・発言 ・ペーパーテスト(後日)
5	都市生活とアメリカ文化 ～世界に広がる生活様式～	アメリカの企業の世界への広がりについて調べ、身近な生活の中に、どのようなアメリカ文化が見られるかを考え、表現することができる。	○ 「アメリカ合衆国のハンバーガー会社の店舗の広がり」から、アメリカ文化が世界に広がっていることを読み取っている。(技能)	・観察 ・発言 ・ノート
			○ わたしたちの身近な生活の中に、どのようなアメリカ文化が見られるのかを考察し、説明している。(思考・判断・表現)	・観察 ・ノート
6	他民族の共存と貧困 ～人種差別と格差社会～ 本時	人種・民族の分布、州別一人あたりの所得について調べ、多民族・多文化からなる社会の課題について考え、表現することができる。	○ 「人種・民族の分布」「州別一人あたりの所得」の資料から、関係が見られることを読み取っている。(技能)	・観察 ・発言 ・ノート
			○ 多民族・多文化からなる社会には、どのような課題があるかを考察し、説明している。(思考・判断・表現)	・観察 ・発言
7	世界に展開する軍事力	アメリカ軍基地の展開によって、その地域に与える影響について関心をもち、様々な資料を用いて、調べようとする態度を養う。	○ アメリカ合衆国のもつ巨大な軍事力やその各地への展開に対する関心を高め、その地域に与えている影響についてとらえようとしている。(関心・意欲・態度)	・観察 ・発言
			○ 「世界に駐留するアメリカ合衆国の兵力」から、アメリカ合衆国の兵力が世界各地に駐留していることを読み取っている。(技能)	・観察 ・発言

4 本時の指導

(1) 目標

人種・民族の分布、州別一人あたりの所得について調べ、多民族・多文化からなる社会の課題について考え、表現することができる。

(2) 評価規準

- ① 「人種・民族の分布」「州別一人あたりの所得」の資料から、その関連性を読み取っている。
(技能)
- ② 多民族・多文化からなる社会には、どのような課題があるかを考察し、説明している。
(思考・判断・表現)

(3) 本時の展開 (評価の○は本時の目標にかかわる評価、●はその他の評価)

段階	学習内容	形態	指導上の工夫及び留意点	評価 (観点・方法)	資料
導入	1 アメリカの人種・民族の分布や人口構成をとらえる。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の写真から、アメリカには様々な人種・民族がいることを確認する。 ・資料から人種・民族の分布や人口構成をとらえる。 ・ヒスパニックについて補説する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人種・民族の写真 ・人種・民族の分布図 ・人口構成のグラフ
	2 アメリカの州別の一人あたりの所得を調べ、課題を設定する。	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から、州によって所得に差があり、それと人種・民族の分布と関係が見られることを読み取らせ、課題設定につなげる。 ・「人種別平均収入」の資料から、実際にアフリカ系、ヒスパニックの平均収入が低いことを読み取る。 	○評価規準① ・複数の資料から関連性を読み取っている。 (観察・発言)	<ul style="list-style-type: none"> ・州別所得 ・人種別平均収入
15分	なぜ、アフリカ系、ヒスパニック系の割合が多い州では、一人当たりの所得が低いのだろう				
展開	3 課題に対する予想をする。	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・出された予想は板書で整理し、追究の見通しをもつことができるようにする。 		
	4 課題について調べ、話し合う。 ・人種差別 ・就業差別 ・所得格差	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ系の背景を既習事項と、資料を読み取るにより歴史的な流れをつかむ。 ・なぜ、アフリカ系の平均収入が低いかを「黒人労働者の話」からグループで読み取る。 ・なぜ、ヒスパニックの平均収入が低いかを「食料品を買うのに必要な労働時間」「アメリカにおける不法移民人口の推移」「あるヒスパニックの話」等、複数の資料を基にグループで読み取る。 ・アフリカ系、ヒスパニックの平均収入が低い理由を、読み取ったことから考える。 	○評価規準② ・各種資料を関連づけ、アフリカ系、ヒスパニックの所得が低い理由を考えている。 (観察・発言) ●積極的に話し合いに参加しているか。(観察)	<ul style="list-style-type: none"> ・奴隷解放宣言 ・公民権法 ・黒人労働者の話 ・食料品を買うのに必要な労働時間 ・アメリカにおける不法移民人口の推移 ・あるヒスパニックの話
30分	言語活動：資料を読み取り、考える。 活動④				
終結	5 本時のまとめ	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・課題についてわかったことを、ノートにまとめることができるようにしたい。 ・なかなかまとめることができない生徒については、板書の語句を使用しながらまとめるように促す。 ・何人かに発表させ、追究してきた事象について共有できるようにする。 	○評価規準② ・差別意識があり、それが所得格差につながっており、それらの解消が課題であると説明している。(ノート)	
5分					